
JETBLACK-Footsteps.Coming.-

ハンシャ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

J E T B L A C K - F o o t s t e p s ・ C o m i n g ・

【Nコード】

N 1 3 6 4 Z

【作者名】

ハンシャ

【あらすじ】

J E T B L A C K ・ P ・ D ・ G ・ に続くJ E T B L A C K第二部的な体の小説です

人物（前書き）

人物紹介です

随時更新していきます

人物

S・AⅡ阿部左宇 水路 11位

本体年齢20歳

欺体年齢17歳

身長体重共に存在せず

零化3回

ナイト4回

BUITe0回

咎人討伐数46人

同胞討伐数13人

魂補充1016

特性

『エラヒストス タナトス最奥の地下水路』

左宇の精神は地下水路の様に入り組んでいる。対象の精神をそこに取り込み、相手の心の中の痛手の分相手を殺す。また、相手が何かしらの負い目を感じている時その負い目×100回相手を殺す。ただ殺す度左宇の精神も摩耗していく。

使用呪文

ナイト

“千刃の谷”

“ソードフィッシュ”

“T a r n k a p p e”

“B L O O D Y - M A R Y”

“スレイ・ライ・サントエク”

“ベルンズ・ニー・グリング” 146 LV4

“ストップ”

“ワキュレール・ヒルデ・リュブ”

“ダーインスレイヴ”

OZに大城妙の護衛役としてワレラに誘われた。
犯した罪は『親殺し』。
狩ったワレラ不明、生きる動機、また希望共に無しではあったが、
罪の中に他人が認める“正義”があつたのでワレラに成れた。

T・O・H 大城妙 ハンシャ 5位

本体年齢17歳

欺体年齢17歳

身長体重共に存在せず

零化45回

ナイト36回

BUITe10回

咎人討伐数955人

同胞討伐数7人

魂補充100

特性

『レフレクシオ反射>ハンシャテッラの国』

『強制解除』の時に強制的に使用させられる特性。相手の使う呪文をそのまま反射させる。相手は唱えた呪文が起動しない。

『強制解除』

一週間の内の一日だけ強制的に零になる。

使用呪文

ナイト

“千刃の谷”

“ソードフィッシュ”

“ スレイ・ライ・サントエク ”
 “ インス・レド・インステーノウ ”
 “ サブゴッド・オブ・リメイション ”
 “ B L O O D Y - M A R Y ”
 “ ストツプ ”
 “ 煉獄プルガトリウム ”
 “ ドリスイト・バリク・トロツク ”
 “ グール・ジフ・リートシズク ” 2 3 L V 3
 “ ベルンズ・ニー・グリング ” 1 7 L V 2
 “ T a r n k a p p e ”
 “ ワキュレール・ヒルデ・リュブ ” 1 8 L V 3
 “ ダーインスレイヴ ” 2 5 L V 2
 “ ルジエロ ” 5 L V 1
 “ デュランダ ” 1 2 7 L V 4
 B U I T e
 “ ラムテイル・ヴィーグ ”
 “ イステーク・ネスダク ”
 “ スロトル・オロスケル・ハウンドヘルベ ” 5 L V 1
 “ ボスディア・ラ・グロアディ ” 9 0 8 L V 1 4
 “ ブレパス・ア・イカト ”
 “ バルド・トエ・ドル ”
 “ フィンブルヴェトルの冬 ”

犯した罪は『見殺し』。

といつても本人が罪だと見ていただけで他人からすればそれは罪ではないので、贖罪する必要はないと思われる。

が、本人が罪だと考える以上それは罪であり、彼女は咎人になった。狩ったのは0Z。

その後『犯罪者が寄り付く体』を利用し咎人を殺しまくり、ついでに寄ってきた咎人寄りのワレラを7人殺す。

7人目のE・NE、更に1〜3人目までは現世で狩ったが、4、5、6人目は“煉獄ブルガトリウム”を利用し『曲解の輪廻』の環から外した。

ワレラに成ったのは生きる動機また希望があったから。

現世の何処かにある“グリモア・グリモワール”を得るといのが動機。

そこにある魔法を使うことが生きる希望。

といってもこれは後付けの動機と希望で、ワレラに成った時の本来の動機とは若干異なる。

しかし最終的にそれを手に入れることが本来の動機と直結することは言つまでもない。

J・A5 II 古賀奈保 12位

本体年齢10歳

欺体年齢16歳

身長体重共に存在せず

零化0回

ナイト0回

BUITe0回

咎人討伐数0人

同胞討伐数0人

魂補充0

特性

『アスピダオス
守護神』

戦う相手をコピーする。ただしコピーされた守護神は対象を5割強化している。

『リスイ
忘却』

特定の記憶を排除させる特性。

『サアダー
植付』

『忘却』で消し去った記憶の代わりに違う記憶を植え付ける。

使用呪文

不明

犯した罪無し。

死因は過剰暴力。

ワレラになれたのはOZの『同情した振り』と『制裁』を目的に持っていたから。

彼女自身はワレラだが、ナイトでもBUITeでもない。

E・NEIIシネ

本体年齢不明

欺体年齢25歳

身長体重共に存在せず

零化3回

ナイト4回

BUITe0回

咎人討伐数31人

同胞討伐数18人

魂補充16

使用呪文

ナイト

“千刃の谷”

“ソードフィッシュ”

“BLOODY-MARY”

“ストップ”

“ドリスイト・バリンク・トロック”
“グール・ジフ・リートシズク”
“ベルンズ・ニー・グリング”
“T a r n k a p p e”
“ワキュレール・ヒルデ・リュブン”

BUITeを嫌うナイトの一人。
犯した罪は『裏切り』。

殺した同胞18人中18人がBUITeという徹底した嫌BUITe。
騎士の名誉だとか誇りだとか言っているが結局それらも塵の積もった下らない思想ではある。

D・W / - II 轍醍醐 深部 ○ 2位

本体年齢853歳

欺体年齢18歳

身長体重共に存在せず

零化1192回

ナイト1193回

BUITe0回

咎人討伐数11926人

同胞討伐数11895人

魂補充13085

特性

『カテユタ深部に至るは全てを知った』
プロフォンダ

あらゆるモノの深部に入り込む。空間、時間、次元、人の真意。対象がなんであれ自らを深みに陥れる。

使用呪文

ナイト

“ 千刃の谷 ”

“ 八龍 ”

“ 雷上動 ” 15000 Lv20

“ 兵破 ” 15000 Lv20

“ 水破 ” 15000 Lv20

“ 天の羽々矢 ” 15000 Lv20

“ 祢々切丸 ” 15000 Lv20

“ 村雨 ” 15000 Lv20

1159年生まれ。

犯した罪は『配下殺し』。

配下殺しと言つても自分が殺した訳ではなく、自らの力及ばずで殺してしまつた。

他人からすればそれは罪でもなんでもなく、配下からすれば忠義立てした主君に最後まで義を持って仕えることができたのでむしろ幸せではある。

が、本人が罪だと見ているのでそれは罪であり、自害に依つてワレラと成つた。

P4・D1〃太宰・ペルソナ 天才 6位

本体年齢99歳

欺体年齢16歳

身長体重ともに存在せず

零化5000回

ナイト46回

BUITe4955回

咎人討伐数50000人

同胞討伐数0人

魂補充4879

特性

ブックレット

『古書』

全ての事象、この世の理は遙か太古に記された書に全て収められている。『古書』はそれを呼び出し、相手の特性や魂補充、召喚体の細かいレベルを読み取る。

使用呪文

ナイト

“千刃の谷”

“ソードフィッシュ”

“スレイ・ライ・サントエク”

“ストップ”

“インス・レド・インステーノウ”

“グール・ジフ・リートシズク” 273 L V 8

“ベルンズ・ニー・グリング”

“T a r n k a p p e ”

“サブゴッド・オブ・リメイション”

“オウブ・ゼス・エピック”

“ドリスイト・バリンク・トロック”

“B L O O D Y - M A R Y ”

“ワキュレール・ヒルデ・リュブ”

“ダイインスレイヴ”

“八龍”

“雷上動”

“兵破”

“水破”

“天の羽々矢”

“ 赤い石 ”
 “ 祢々切丸 ”
 “ 煉獄プルガトリウム ”
 “ ルジエロ ”
 “ 7つの大罪 ”
 “ デュランダル ”
 B U I T e
 “ ラムテイル・ヴィーグ ”
 “ イステーク・ネスダク ”
 “ スロトル・オロスケル・ハウンドヘルベ ” 450 L V 1 0
 “ ボスディア・ラ・グロアディ ”
 “ ブレパス・ア・イカト ”
 “ バルド・トエ・ドル ”
 “ 痛過儀礼 ”
 “ 鬼人面相 ”
 “ ストツプ ”
 “ 蝕虫毒 ”
 “ 蜘蛛縄 ”
 “ A z i D h a k a ” 400 L V 1 0
 “ A b a d d o n ” 400 L V 1 0
 “ ワイルド・ハント ”
 “ フィンブルヴェトルの冬 ”
 “ サブナク・ソロモン ” 400 L V 1 0
 “ ツマグ・オグンジエニ・ヴク ” 400 L V 1 0
 “ エクシュキユ ” 400 L V 1 0
 “ フラガラツハ ” 15000 L V 2 0
 “ エクスタルタロ ”
 “ ベレト・ソロモン ” 14000 L V 1 8
 “ シャツクス・ソロモン ” 6587 L V 1 8
 “ キマリス・ソロモン ” 15074 L V 1 9

犯した罪は『悪魔契約』。
ワレラの呪文の中には悪魔召喚のモノもあるがそれはそれ、人間の内に悪魔契約など大罪でしかない。
ある意味での咎人であるワレラには許される。
そしてそれが、彼がワレラになった理由でもある。
明確な動機は全知全能になること。
どんな詰まらない些細なことも全てを知りたい。

E2・D1「太宰秀一 秀才 25位

本体年齢99歳

欺体年齢16歳

身長体重共に存在せず

零化0回

ナイト0回

BUITe1回

咎人討伐数0人

同胞討伐数5000人

魂補充4974

特性

『^{エモニ}支えの空^{ウラノス}』

彼は常にそれだけを求める。前に立つのではなく、隣に肩を並べるのではなく、背後に控えるのではない。ただ支えることで自らを支えるに値する者を強化する。

使用呪文

BUITe

“ラムテイル・ヴィーグ”

- “ イステーク・ネスダク ”
- “ スロトル・オロスケル・ハウンドヘルベ ” 480 Lv10
- “ ボスディア・ラ・グロアディ ” 15000 Lv20
- “ プレパス・ア・イカト ”
- “ バルド・トエ・ドル ”
- “ 痛過儀礼 ”
- “ 鬼人面相 ”
- “ ストツプ ”
- “ 蝕虫毒 ”
- “ 蜘蛛縄 ”
- “ A z i D h a k a ” 580 Lv10
- “ A b a d d o n ” 498 Lv10
- “ ワイルド・ハント ”
- “ フィンブルヴェトルの冬 ”
- “ サブナク・ソロモン ” 590 Lv10
- “ ツマグ・オグンジエニ・ヴク ” 480 Lv10
- “ エクシユキユ ” 500 Lv10

犯した罪は『兄弟殺し』と『自殺』。

悪魔契約に失敗したペルソナを助けるため自殺。

自殺による罪で咎人になり、それをワレラの誰かが浄化し、兄を助けるという動機でワレラに成った。

そして『悪魔契約』を行った兄を咎人として殺し、ペルソナもまた全知全能になるという動機の下ワレラに成った。

Ve・IEⅡヴール 不快 × 1位

本体年齢不明

欺体年齢20歳

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

BUITE不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充無数

特性

『タクスイ スパオ アフトクラトリア確率破綻の国』

二十面体の賽子の召喚体を召喚する。

通常の六面体賽子は全ての面が出る確率一定だが、『確率破綻の国』の場合1/20の確率ではなく、振る度に確率変動を起こす。

初期確率は7、13、20が0。

4、15、18が1/18。

9が9/18。

11が8/18。

6が6/18。

2、3、5、10、16、17が4/18。

1、8、12、14、19が2/18である。

使用呪文

ナイト

“千刃の谷”

BUITE

“イステーク・ネスダク”

史上最悪のワレラ。

犯した罪は間接的な『大量殺戮』。

十殺せば殺人者百殺せば殺人鬼百万殺せば英雄を地で行った男。

この世に『曲解した輪廻』を齎している『全てを束縛する国』を保っている存在でもある。

そのためOZやT.O.は彼を殺すことを善しとしない。

E。XⅡ出宮真 真理 x 13位

年齢17歳

身長165 / 2cm

体重54 / 5kg

零化0回

ナイト0回

BUI TE 0回

咎人討伐数0人

同胞討伐数0人

魂補充0

特性

『^{ハコニラ}真理の国』

彷徨う彼方で出宮が使用した『“Scenic Projection”風景投影』が特性として顕現した形。

使用呪文

ナイト

見たもの全て

BUI TE

見たもの全て

『彷徨う彼方』のラスボス。

『戦う理由』にも出ている。

どこにでも出てくる困ったちゃん。

彼のアダム『Dust』により、見た呪文聞いた呪文、特性全てを使用可能にする。

A・A0 〓 吾桑 快感 21位

本体年齢27歳

欺体年齢20歳

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

BUI Te不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

『^{エレスイミア}快樂主義者の空^{ウラノス}』

この世で誰かが感じた快樂全てを集め溜めておき、対象に必要な分だけぶつける。

対象の快樂の蓋が開いた時、快感に溺れ溺死する。

使用呪文

不明

Ve・IEに叩き込まれた不快に『快樂主義者の空』全てが飲まれ死んでいった。

犯した罪は『違法薬剤投与』。

dInノルチアーノ 絶望 x 20位

本体年齢35歳

欺体年齢35歳

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

B U I T E不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

『アヘルビスイア 望みを絶つ海』タラサ

先に99の希望を与え、1の絶望を与えることにより1000の絶望に変える。

使用呪文

ナイト

“ 千刃の谷 ”

“ ソードフィッシュ ”

“ スレイ・ライ・サントエク ”

“ ストップ ”

“ インス・レド・インスデーノウ ”

“ グール・ジフ・リートシズク ”

“ ベルンズ・ニー・グリング ”

“ T a r n k a p p e ”

B U I T E

“ ラムテイル・ヴィーグ ”

“ イステーク・ネスダク ”

“ ボスディア・ラ・グロアディ ”

“ ブレパス・ア・イカト ”

犯した罪は『拷問殺人』。

崖に掴まる友人を殺した事が『望みを絶つ海』を开花させた様な気がする。

伍堂の女 愛こわれ 30位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

B U I T e不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充3747

特性

『トワット アモーレ他者の愛』

死んだ魂を束縛し抛り所に連れていくことでワレラとする。

最大100人。

ワレラにするに際し伍堂の女の魂が1消費されるが、E・0としワレラになった者が狩った魂は伍堂の女のモノになる。更にE・0は、伍堂の女が存命ならば死んだとして魂の消費なく循環する。

使用呪文

不明

犯した罪は『旦那殺し』。

D・G O II 裁断介添人 助力 ○ 26位

本体年齢不明

欺体年齢65歳

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

B.U.I.T.e不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

『ウェールズ 真偽は私の前に明快』
ベッルス

ワレラの特異技能である『犯罪の透視』で見た罪を、言葉にすることにより人間にも理解、納得させる特性。

『ユーディキウム 裁断介添人』

復讐を遂げたいと思っている人間に一時的にワレラとしての能力、『朧の見掛け』や『犯罪の透視』、また“千刃の谷”と“ボスディ・ア・ラ・グロアディ”を詠唱拒否で使用可能にする。これにより人間が復讐を遂げた場合D・G0に魂補充が10追加され、咎人討伐数は100増えていく。

使用呪文

不明

科された罪は『殺人』。

自らは罪と認めず、擦り付けられた罪でワレラになった唯一の人間。本来ならば自らの罪で、自らが罪と信じなければワレラにはなれないが、OZの計らいでワレラになった。

本当は、ワレラになり自分に罪を擦り付けた奴を殺すはずだったのだが、ワレラとして現世に戻ってきた時、すでにそいつは死んでいた。

復讐を遂げられなかったD・G0は、顕現した特性により他人の復讐を助けることにより自らの欲を満たしていった。

DIEⅡダイオレス 殺人鬼 × 8位

本体年齢154歳

欺体年齢15歳

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

BUIE不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充7000000000

特性

『ヤクトル ザイル バラド殺意の咆哮響く国』

空間転移特性。偽装空間とも言える。仮想生活圏で国。そこには数十万の人間が住んでおり、この国に送り込まれた対象に全員の殺意が集中する。そしてあらゆる手段で対象を殺しに掛かる。無論DIEも殺しに来る。この国の住人は全てDIEが以前殺した人達。

使用呪文

存在し得る呪文全て

ワレラになる前、つまり生きていた頃一万人以上を殺した究極なる殺人鬼。“者”ではなく“鬼”。二つ名の通り、綺麗な殺しではなく数の殺しを好む。10歳の頃同級を殺してから一日も欠かさず誰かを殺している辺り、実はV.E.IE以上に不快感を感じさせ、この世の狂人全てを集めた狂気より狂っているのかもしれない。犯し

た罪は『大量殺人』

III II サナイ 無限 15位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

BUI Te不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

『無限の廻廊続く国』
インフィニタカケルテッラ

詳細不明

使用呪文

不明

未確認。

SION II シオン 爆破 ○ 14位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

B U I T e 不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

『フオティア 火となり灰となれ』スタフテイ

人以外、全てを爆破させられる。基本的に見た物は爆破か着火。触れた物は時間差爆破、若しくは即時灰化出来る。

使用呪文

ナイト

“ 千刃の谷 ”

“ ソードフィッシュ ”

“ グール・ジフ・リートシズク ”

“ ベルンズ・ニー・グリング ”

“ サブゴッド・オブ・リメイション ”

B U I T e

“ イステーク・ネスダク ”

“ ボスディア・ラ・グロアディ ”

犯した罪は『世界の主要建築物連続爆破』。といつてもそれらの建築物は世界にとって不要、癌のような存在であった。人の欲と業により構成されたそれを爆破し続けたのはむしろ正義だということではワレラになれた。

C A b T Ⅱ 兜 暗殺者 × 18位

本体年齢不明
欺体年齢不明
身長体重共に存在せず
零化不明
ナイト不明
BUITE不明
咎人討伐数不明
同胞討伐数不明
魂補充不明

特性

スコタディ ウラノス
『暗闇の空』

使用呪文

不明

N i n g 中田 溺死

17位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

BUITE不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

バゴノ
『凍える寒さの水面に落ちろ』
リムニ
フトスイ

空間転移特性。偽装空間とも言える。半径5kmの湖の上に対象を連れていく。

使用呪文

不明

Deet II デイト 殺人者 x 9位

本体年齢123歳

欺体年齢不詳

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

BUI Te 不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

ソヴァロ インテルファイサベラ
『繊細なる殺意の国』

空間転移特性。偽装空間とも言える。仮想生活圏で国。この国に入国した者は片腕が吹き飛んでいようが、片脚が切断されていようが、片眼が剝り貫かれていようが、どんな“外傷”を負っていようがたちまち回復する。この特性を使うには条件がある。半径1km以内に外傷を負った者がいること。Deet自体もこの空間に行けば外傷は全て治る。ただDeet以外に怪我人がいなければ使えない。そして『繊細なる殺意の国』の最大の特徴は、一度入るとDeetを殺そうがなんだろうが一時間は出られないことだ。そしてワレラは、T.O.O.の『強制解除』の様に正にも負にもなれず零のままその国を彷徨うことになる。

使用呪文
不明

生前、“治す”ことこそこの世で至高の行いであると信じ、医者になり多くの人を無償で救ってきた。ワレラとなった今も諸外国の貧困街や貧しい村に行き無償で治療などを行っている。が、根本的な部分が生前と死後では違っていた。生前は純粹に治すこと、修復が好きだと思っていた。事実治すことだけに生涯を費やした。そして生きていた最後の日にようやく気づいた。治すこと自体が好きなのではない。それは過程に過ぎず、重要なことはその後待っているのだということに。『・・・』なら完全な状態でなければ意味はない。そして彼は『解体殺人“仮”』を犯し、ワレラに依り浄化された。殺した人数に対し救済した人数が圧倒的多数であったためワレラになった。

THUNニサン 雷 16位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

BUIITE不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

『プロエレスフゲラウノス
原点の雷』

使用呪文
不明

未確認。

Xana II 佐奈 桃源郷

0位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

BUI TE不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

パラディソス
『桃源郷』

空間転移特性。偽装空間とも言える。この世の楽園『桃源郷』に行く。ここにはなにもなく、なにかもを召喚出来る。痛みも苦しみもなく、Xanaはワレラになってからずっとこの空間に引きこもっている。

使用呪文
不明

引きこもり。

D・G O / 〓 裁断請負人 28位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

B U I T e 不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

『ディカステイリオ 裁断請負人』

使用呪文

D I E / K 〓 殺人請負人 × 27位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

B U I T e 不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

『スコトノバリヤツオス
殺人請負人』

使用呪文

E d i a 〓 自殺介添人 × 29位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

B U I T e 不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

『自殺介添人』

使用呪文

d O S I 〓 デイオス 殲滅 ○ 10位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

BUITe不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充7000000000

特性

アベルヒネムアリウム
『殲滅帝国』

ディオス自身が現世に50体出現する。

使用呪文

不明

ある国の元元帥。犯した罪は、恐らくVe・IEより酷い『国滅ぼし』。ある国に反発していたとある小国を、国ごと文字通り“滅ぼした”。ただ、それはある国にとっても世界にとっても、プラスになることはあれマイナスにはなりえない事象であった。しかし、一国を、そして大量の人間を殺したことにかなりのバッシングを受け、全ての責任を負いディオスは自害した。そして死後、その行為に正義があり、敬意を表されたためワレラになった。殺しに正義を求め、一般人を殺すことはない。

EUノレンゴウ 自由

19位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

BUITe不明

咎人討伐数不明
同胞討伐数不明
魂補充不明

特性

『エヒロギ選択するは個人エレフセリアの自由』

使用呪文

h / S . II 椎名サンザ 透明 0位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

B U I T e 不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

『ソマ存在値は光フォスの屈折』
透明になれる。

使用呪文
不明

未確認。

d O G C II 選択者 x 7位

本体年齢不明

欺体年齢不明

身長体重共に存在せず

零化不明

ナイト不明

B U I T e 不明

咎人討伐数不明

同胞討伐数不明

魂補充不明

特性

『^{フアイトゥス}神の意志などないに等しい。^{ムターテイオー}取捨はまた容易く』

全ての事象に対して等しく“選択”する権利を得る。ただし“Y e s”か“N o”で答えられることに限り、直接“殺すか否か”の選択は出来ない。間接的な殺しの選択、例えば“崖から突き落とすか否か”Y e s O R N o、という選択は可能。Y e s を選択すれば対象は崖から落ち、N o を選択すれば対象は崖から落ちることはない。この選択は絶対的な死に直結しないので選択出来る。

使用呪文

ナイト 呪文（前書き）

ナイトの呪文です
更新するかも

ナイト 呪文

『星。抽象概念の具体概念。至上の感情高次の生命。火と月、エーテルの狼。頌歌の流れる地と天。滴る純金。宿り場の精霊。現状の限界からの解放。血の生命を我に手向ける。“Astral”』
火と月からなる高レベルの世界アストラルを召喚、考えようによってはそこに移動する呪文。ただの人間を連れていった場合子供に咎人を連れていけば無条件でワレラになる。此処で殺された場合人間は死なず、咎人は天国へ、ワレラは永遠にアストラル内を彷徨う。これを使つた術者は魂補充を100個消費する。

『ラジエルの書。根本原理降霊の文書。心身破滅天使魔術。真実在の影。ソロモンの小さな鍵レメゲトン。パウロの書アルマデル。現世後世次元の魔術を貴方へ。“グリモア・グリモワール”』
ナイトが覚えるであろう全ての魔術が書かれた書。
グリモワールはフランス語。グリモアは英語読み表記か。15世紀末〜18世紀にかけての魔術にかかわるさまざまな文書をあらわす名称。

“突き詰めるのは正義の殺人
目には目を、歯には歯を、殺しには殺しを
殺されたいからお前は殺す
罰とは言わない
制裁であり死刑
我は成す我を成す
墮落の騎士の下に誓いを
私は殲滅します”

主に剣や刀などを使うクラス

Create 剣と唱えれば剣が、Create 刀と唱えれば刀が、
Create 銃と唱えれば銃がそれぞれ与えられる

『来い流星群。貫き、拘束しろ。“千刃の谷”』
ナイトが最初から使える呪文。剣の雨を降らせる。

『降り注げ切り裂く風よ。“ソードフィッシュ”』
刃を風にし吹きすさばせる

『燦燦煌煌突き刺す光“スレイ・ライ・サントエクス”』
物理化した太陽光線が対象を突き刺し殺す

『一の雨、十の雪、百の風、千の死。世界に散らばる全ての狂気を
貴方に。“インス・レド・インスデーノウ”』
一でこの世で最も軽い罰を、十でこの世で最も軽い痛みを、百でこ
の世で最も重い罰を、千で死に落とす。

『隠れ蓑。受け取る返り血。竜の魂。不死の騎士。終局にて墮落。
ニーベルングの指環“グール・ジフ・リートシズク”』
ニーベルングンの歌の主人公であるジークフリートを召喚させる。

『殺す。殺す殺す殺す。正義の下に殺戮。騎士の名誉に於て殺戮。
殺戮の下に殺戮。魂の蒸発。体の昇華。死の頌歌。集え裏切り指輪
は点す。“ベルンズ・ニー・グリング”』
ジークフリートの剣グラムを出現させる。その名は古ノルド語で怒
りを意味する。オーディンからシグムンドへ与えられ、後に息子
のシグルズに受け継がれた。石や鉄も容易く切り裂いたといわれて
いる。鍛え直された後の長さは7スパン（およそ140センチメー
トル）あった

『隠れ外套。クペランの騙し討ち。ニーベルンゲンの歌。霧の帽子
“Tarnkappe”（タルンカッペ）』
ジークフリートが手に入れたかくれマントを召喚する呪文。姿を消
すことができる。

『輝け魂。昇華に継ぐ昇華。神聖の下に更なる誓いを。“サブゴッ
ド・オブ・リメイション”』
ナイトの力を倍増させる。普段より速く、普段より滑らかに動き、
華麗に、鋭く対象を殺す。

『高潔なる血。純正なる血。無垢なる血。精巧なる体。磊落なる心。
大悟なる志。呼び起こせ古代太古最古の魂。“オウブ・ゼス・エピ
ツク”』
ゼウスの剣であるケルキオンを召喚させる。雷を司る剣で、一振り
で街を、二振りですべてを滅ぼそうと思えばそれが出来る。ただ他の武
器や召喚体にも言えることだが現世においてその威力を発揮するの
は難しい。真価を見たいのであれば“アストラル”や“煉獄プルガ
トリウム”などの偽装空間に行くしかない。現世で本気を出した場
合は小島が破壊できる程度。

『世界の沈黙。沈黙は金。金は権力。権力は世界。全ては黙り屈服
す。“ドリスイト・バリンク・トロツク”』
対象の動きを封じる呪文。

『好みは流血。迫害の姫。反感する精神。天に召します最後の血。
“BLOODY-MARY”』切り傷を付けることでそこから血を
噴き出させる。

『静止。制止。止まり動かない。零は無力。正は動作負は動作。』

ストップ”[㊦]
指定範囲内の動きをなくす。人間は動けないが、ワレラは動くことができる。

『戦乙女。戦死者を選ぶ女。バルハラの運び手ニールベルンゲンの歌。
“ワキュレール・ヒルデ・リュブン”[㊦]
ワルキューレの一人ブリュンヒルデを召喚する。

『ダーインの遺産。生き血を。魔剣の真価。熔かし吸い尽くす。
“
ダーインスレイヴ”[㊦]
魔剣ダーインスレイヴを召喚させる。一度鞘から抜いてしまうと、
生き血を浴びて完全に吸うまで鞘に納まらないといわれた魔剣の代
表格。ブリュンヒルデに持たせることにより威力を発揮する。

『しろき唐綾（かじあや）をもてをどしたる大荒目（おおあらいめ）の鎧。同じく獅子の金物打た
るままに。“八龍”[㊦]
八ツ首の龍の魂が宿った鎧。破損しても即座に修復される。

『眠りを醒ます弓。雷の鋭さ夢の臍。“雷上動”[㊦]
日本の伝説にでてくる神がかり的な弓。これにより放たれた矢は雷
の速さ、威力を誇るが、夢の様に臍げにもなる。

『兵共（せいども）も夢の後。“兵破（へいやぶ）”[㊦]
日本の伝説にでてくる神がかり的な矢。一撃で100人の兵を殺す。

『明鏡止水しなやかなる生命。“水破”[㊦]
日本の伝説にでてくる神がかり的な矢。一撃放てば、周囲は水を打
ったように静まり返る。

『正体の証明。証の神。天にも昇る魂。
“天の羽々（あまのははや）矢”[㊦]

櫛玉饒速日の命が天の神の子である証拠として、長髓彦が天皇にみせた品。

『金属の母。哲学の真実。墓場凝固発酵増殖。賢者のために捧げる。赤い石』[㊦]

賢者の石を召喚する。召喚者の望むモノを3つだけ具現化出来る。

『山は金。波を起こし波瀾とす。断ち切る大太刀“ねね きりまる袂々切丸”』[㊦]
全長3.4m、刃長2.2m、重量22.5kg。の大太刀を召喚する。山を斬れば道が出来、海を斬れば津波を起こす。

『中途の地獄。贖罪の地。ある意味での報いある意味での封印。逃げ出す術は無く許されない。“煉獄プルガトリウム”』[㊦]
プルガトリウムを出現、考えようによつてはそこに移動する呪文。大罪を犯した者は地獄に、それ以外の者は天国に落とす。此処で浄化された咎人はワレラに成れず、また魂の補充があるワレラもまた輪廻の環から外される。一度に消せる魂補充は世界人口に比例する。この世界では大体70億。

『狂えるオルランド。岩縛りの女。アルノルト。オーギュスト。ルジエロ』[㊦]

イタリアの物語の勇士ルジエロを召喚する。岩にしばりつけられた女性を助けるため、竜の首を切り落として倒した。

『Seven sins。傲慢、嫉妬、憤怒、怠惰、強欲、暴食、欲情。ライオン、蛇、ユニコーン、熊、狐、豚、蠍。十戒、十悪、五逆罪。当然の報いを此処に。“7つの大罪”』[㊦]

キリスト教の伝承、神学上の教義。七つの大罪は凄まじいデーモン、悪魔の姿であらわされることもある。

^{プライド}傲慢 「ライオン」

エンワイ嫉妬 「蛇」
ラース憤怒 「ユニコーン」
スロウス怠惰 「熊」
グリド強欲 「狐」
グレート暴食 「豚」
ラスト欲情 「サンリ、蠍」

『サン・ピエールの歯。サン・パジールの血。司教サン・ドニの髪。サント・マリアの衣の布端。12勇士の魂。自傷の剣、されど壊れず眠りに就く。“デュランダル”』
 フランスのシャルルマーニュ伝説、また「ロランの歌」にでてくる武器デュランダルを召喚する呪文。シャルルマーニュの12勇士の一人、ロランの持つ名剣。名匠の鍛えた業物であり、強靱かつ鋭い切れ味で、どんな防具もひとたまりもないという。黄金の柄の中には聖遺物（サン・ピエールの歯、サン・パジールの血、パリ最初の司教サン・ドニの髪、サント・マリアの衣の布端など）が収められている。

『地獄出身。無音の蹄。不沈の蹄。羽無しの翼。雲の海、沈没の魂。 “ベエヤード”』
 シャーレマン伝説にでてくる馬ベエヤードを召喚する呪文。石をけつても音をたてず、水の上を歩いて沈まず、翼がなくとも空を飛び、雲の上まで飛べるといふ。

『黄金の柄。勝利を呼び込み殺害。血吸いの剣。深紅に染まり鞘が収める。“テュルフィング”』
 北欧の伝承に出てくる剣テュルフィングを召喚する呪文。柄は黄金、切れ味は鉄も服と同じようにやすやす切り、決して錆びつかず、持ち主が誰であれ勝利をもたらず。半ば強制的に造らせたこの剣は、鞘から抜かれると人間の血に染まらなければ鞘におさまらなかつた。

切り付けられたものはその日のうちに死んだという。

『神の門。ジググラト・エ・テメン・アン・キ。天と地の基礎の家。7層に連なる階。シナルの地、落下する煉瓦。名声向上周囲集中。混乱に崩壊。辿り着くことは二度と無く乱れ。真実のその向こう。』

“バベルの塔”』

ユダヤ神話の旧約聖書・創世記に出てくるバベルの塔を召喚考えようによつてはそこに移動する呪文。この塔の建設には40年以上かかり、頂上まで登るのに1年かかったと言う。頂上に着くまで実際は1時間、体感時間は1年かかる40の階で構成されており、1つ階を進む毎に大事な事を忘れていき、思い出すことは二度とない。

『抜けば玉散る氷の刃。“村雨”』

『南総里見八犬伝』に登場する架空の刀村雨を召喚する。鞘から抜くと刀身に露が浮かぶ奇瑞がある。切り付けた部分が凍りつく。

『神族の腕は銀であり剣。四種の神器フィンジアスより来たる。眼前に残党無し。煌煌の剣“クラウ・ソナス”』

ケルト神話に登場するダーナ神族の王、銀の腕又アザの所有する剣クラウ・ソナスを召喚する。鞘から出れば周りの者の目を眩ます。相手は抵抗する事すら出来ずに二分される不敗の剣であると伝えられる。不可視の敵だろうが見つげだし殺す。

『エノク第三書。炎翼の天使、智の天使。神流の栄光であり光輝。』

7つの天国すら灰燼と化す。“ケルビナー・シエキエル”』

智天使ケルビムの長ケルビエルが携えているというシエキナーの弓を召喚する。太陽の36万5000倍明るいという。弓だけでも相当な威力を発揮するが、これによって放たれた矢は、たとえ紙で作られた矢だとしても鉄筋コンクリートの5階建てビルを一撃で粉砕する。

「神に似た者。七大天使の一人。罪悪の天秤、秤の担い手。光彩の篝火。元始の人々との邂逅。さあ起原に戻ろう。“ミカエル・ヨハネ”」

ユダヤ教、キリスト教における天使ミカエルを召喚する。名前は「神に似た者」の意。大天使であり、剣と、最後の審判で人間の罪をはかる天秤をもつ。ルシファーと戦った天使であり、ヨハネ黙示録ではドラゴンを退治する物語があるせいか、描かれる時も鎧をまとい、剣を持った姿が多い。人間との関わりが深く、アダムとイヴを天使たちに紹介したり、アダムたちに穀物の種を渡すなどしている。

B U I T e 呪文(前書き)

**B U I T e の呪文です
更新するかも**

B U I T e 呪文

“ 醜悪な心を剥き出す

目には目を、歯には歯を、殺しには殺しを

食い散らかし消化

食い散らかし浄化

食い散らかし昇華

魂の権限を私に

崇高なる獣の下に誓いを

私は救済します”

『 全ての人は肉塊に。全ての物は塵芥に。来いよ死の部屋。 “ ラム
テイル・ヴィーグ” 』

指定範囲に内側に重力負荷がかかるドームを作る。中の重力負荷は
大体1000G

『 暗い暗い暗い暗い暗い暗い暗い暗い暗い暗い暗い暗い。地に
伏せ、叩き込まれる杭。幾百の杭で喰いちぎる。 “ イステーク・ネ
スダク” 』

初撃が右手、二撃目が左手を撃ち、三撃目が左脚を、四撃目が右脚
を貫き大地に礎にする。更に杭が体中に降り注ぎ、最終的に心臓を
喰らわれる。

『 冥界の番犬。構成するは双頭の犬地獄の犬。魂を導く死の咆哮。
速く速く速くしないと持つていかれる。底無し穴の霊。来たれ “ ス
ロトル・オロスケル・ハウンドヘルベ” 』

冥界の番犬であるケルベロスを呼び出す。真ん中がヘルハウンド、

左右の顔がオルトロスで構成されている。ヘルハウンド、オルトロス双方の特性に加え、ケルベロス本来の力も備えている地獄と冥界の番犬。

『常世の間をここへ。常夜に。巣くわせ蓄え喰らい尽くす。悪魔の剣。死を運び生とす。“ボスディア・ラ・グロアデイ”』
悪魔の剣を召喚。血を吸うほど切れ味を増し、生物を殺す程強度を増す。

『>>死者の書<<。魂の経過に興味は湧く。導く死の魂と旅路。解脱し、生きていけ。“バルド・トエ・ドル”』
触れた相手を安楽死させる呪文。

『寒い。辛い。極限の痛み。崩壊する自我。そして達する。墮ちていけ。“痛過儀礼”』
対象は一步步度に寒さが体を貫き、体が凍るような痛みに苛まれる。

『鬼哭啾啾。電光朝露。鬼の慟哭。泣いたとして変化無し。命短し殺せよ乙女。“鬼人面相”』
BUITEの力を倍増させる。普段より速く、普段より滑らかに動き、華麗に、鋭く対象を殺す。

『静止。制止。止まり動かない。零は無力。正は動作負は動作。“ストップ”』
指定範囲内の動きをなくす。人間は動けないが、ワレラは動くことができる。

『うつむく者。頭を擡げるを良しとせず。ニグリスの泉。瞳の中は死者の国。“ブレパス・ア・イカト”』

眼を見た者を死に追いやるカトブレパスの瞳を自分の瞳に召喚する。
右目は石化、左目は死を司る。

『鳥の鳴き声。黒猫の横断。夜の口笛。瞳を暗く喉は潰れ蝕む頭。
蝕虫毒』
対象の指定部位を腐らせる。

『絡む糸。混じる紐。手繰れば縄。救いを求め掴む命。しかし断ち
切る。“蜘蛛縄”』
精神攻撃。大穴に吊され、下からは炎が噴き出す幻影を見せる。体
を支えているのはたった一本の糸のみ。

『欠乏と貧困。飢えと渇き。老年と死。悲しみと嘆き。極暑と極
寒。悪魔と人間の混淆。地上の王座、三首三口六眼の龍。“Azi
Dhaka”（アジ・ダハーカ）』
ゾロアスター教の伝承における怪物アジ・ダハーカを召喚する。悪
神アンラ・マンユの率いる魔物のひとつで、三頭・三口・六眼の竜
だという。世界の終わりには人類の3分の1を殺戮することを運命
づけられているという。

『彼を殺した彼を殺す。破壊者アポリオン。第七階級の魔神の長。
ボルヘスの地獄辞典。殺戮の天使。底なしの穴に巣くう王。到達し
がたい場所。到らず墮とす。“Abaddon”（アバドン）』
黙示録の殺戮の天使、底なしの穴に住むデーモンの王であるアバド
ンを召喚する。

『Hans von Hackelberg, Hans von
Hackelberg。先導の梟。嵐の通過。獵の名手獵の名犬。
食らい尽くせ“ワイルド・ハント”』
ヨーロッパの伝承で、獵犬と獵師からなる幽霊の群れ。幽体で人に

対する物理的干渉は出来ないが、鼻がよく利き敵を探し出したりする。

『大いなる冬。 フィンブルテュール fimbutyr。殺害とシヴィヤスリト。ギョルヴィの惑わし第五十一章。煤赤色のとさかの雄鶏の鳴き声。諸神の戦いの神々の大いなる運命。世界に終わりが。 “フィンブルヴェトルの冬”』

古い太陽が光を失うとこの冬がきて、雪があらゆる方向から吹きつけ、霜は厳しく、風は身を切るようにきつい。これが三度続き、その間夏はないという。この冬の空間フィンブルヴェトルの冬を召喚、考えようによってはそこに移動する呪文。

『与え癒す。腐敗の傷に蛆。青白馬の騎手。猶予の30、72の一角。 “サブナク・ソロモン”』

ソロモンの72の悪魔の一人サブナクを召喚する。ライオンの頭をもつ獯猛な戦士の姿で、青白い馬に乗って現れる。軍事力と築城術の知識を持っているため召喚されるといふ。また癒しがたい負傷を与える、またはあらゆる負傷を癒すともいふ。

『狼憑きの領主。 zmag ognjenivuk。運命の殺し。 “ツマグ・オグンジエニ・ヴク”』

ボスニア、セルビアの伝承の怪物、ドラゴン殺しの英雄であるヴクを召喚する。名前の意味は「気の荒いドラゴン狼」。伝説的な15世紀の狼憑きの領主「暴君ヴク」で、この大君主は前腕に赤毛の生えた血のように赤い母斑があり、火を吐く狼憑きだと思われるという。

『全てを知る者、回答者。罪悪に対する行為を施行する者、報復者。鎖の断絶、壊せぬ物無し。 “フラガラツハ”』

ケルト神話に登場する剣フラガラツハを召喚する。その一撃は鎧で

止めることは不可能であるという。さらに、どんな鎖も切り裂くことができるとされる。抜こうと思うだけでひとりでに鞘から抜け、手におさまるといふ。また、敵に向かって投げれば、剣自らが敵を倒し、手元に戻ってくる。さらに、フラガラッハによってつけられた傷は治癒されないといわれる。

『死後の馬に飛び乗れ。死に装束をつける。死後にとる食事を食べる。火の海を越え氷の丘に來い。されば太陽は戻るだろう。』 “エクシユキユ”[㊦]

サハ民族の伝承の大蛇エクシユキユを召喚する。人間の国と川で区切られた向こう側の世界を支配している。燃える火の海を越えた、氷の丘の上の巢に棲んでいる。

『往々にして残るもの無し。泣き叫ぶもの無し。殲滅の行進、優越の凱旋。地獄の来訪者。』 “エクスタルタロ”[㊦]
偽装呪文。

『72柱の1柱。序列13、85の軍団を収める魔神。怒りの召喚、ハシバミの杖を向け描く。奏者の鼓動に合わせ出陣。護符となる銀の指環。忘れることなく死の指へ運べ。我は告げるソロモンの封印を破る主。来たれ怒髪衝天の王“ベレト-ソロモン”』[㊦]
ベレトはソロモン72柱の魔神の1柱で、地獄の85軍団を従える序列13番の恐るべき大王である。青白い馬にまたがりトランペットをはじめとする楽器が鳴り響く中で現れる。召喚された時点で既に激怒しており、召喚者は彼の怒りを免れるためにハシバミの杖で南東の方角に向かって正確な三角形の結界を描き、召喚儀式に従ってその中に入るように命じなければならぬ。ベレトに命令する際には絶対に王者に対する礼儀を欠いてはならず、また常に左手の中指に護符となる銀の指輪をはめて相手の顔に向け示し続けなければならぬ。

『真の影。 “影の王冠”』
スキア スデマ

ベレトの持つ漆黒の剣。

『44の軍勢、無限であり夢幻の攻域。最高末路の生き地獄、解放にして開放の死路。準備は出来た。最上の待つ戦争を辿れ。 “ロード・デス・ウォーヘル”』

偽装空間の様なベレトの箱庭。過去に彼が墮とした城、戦車、兵士などが飾ってある。別にそれらを使うというわけではなく、単にベレトが寛ぎたい時、気に入った相手を招きたい時などにこれを使用する。また“フィンブルヴェトルの冬”などの偽装空間呪文を使えないベレトが本気を出したい時に使う。

『祭壇に捧ぐ全能なる象徴。霞の向こうに残る眠り。水平線が地平線に混じり極光。錆つく鉄鎖に刻印。天蓋に昇る終焉の柵。砂上の楼閣にて黎明の寝に就け。 “Deus Occiditur Terrarum”』

偽装呪文。そこで精製する武器は全て神殺しの武器で、一撃刺されば対象は神性を失う。

『72柱の1柱。序列66、20の軍団を収める魔神。勇猛なる黒光りの戦士。文学を与え、勇猛心を与え。悪霊の統括。迅速なる行動値。来たれ勇猛果敢の戦闘神“キマリス・ソロモン”』

キマリスはソロモン72柱の魔神の1柱で、地獄の20の軍団を率いる序列66番の強力な大侯爵。黒い名馬にまたがった黒い肌の勇猛な戦士の姿で現れる。アフリカの全ての悪霊を統括しているとされる。召喚者を勇敢にしたり、召喚者に完璧な文法・論理学・修辞学を教えることができ、また失くしたり隠された事物や財宝を見つけて出すこともできる。人を兵士の姿に変化させたり、海や川を迅速

に渡らせたりすることができる。

『桎梏しゅうこくの力。ただ単純に圧倒し壊す。』
『戦闘神マヒテオス』[□]

刀身3mの大剣。

『真桎梏しんしゅうこくの力。ただ単純に圧巻し殺す。』
『真戦闘神アリスマヒテオス』[□]

刀身6mの大剣。“戦闘神”の3mに今までキマリスが粉碎してきた剣の破片が加わることにより6mの大剣を形成している。

『文化の遺産。666の軍勢、全ての智慧が詰まる家屋。無限の回廊に無数の螺旋。連なる階は塔より劣り5連。然りとて劣るはずもなく、叡智を受け継ぐ狼煙は上がる。』
『図書館ライブラリースイキ』[□]

偽装空間の様なキマリスの書庫。この世とあの世、天の国地の国全ての書物が備えられている。多数のグリモアも保管されている。

『72柱の1柱。序列44、30の軍団を収める魔神。命を運ぶ鳥感覚の与奪者。財の限りを集め与え。来たれ虚言の侯爵』
『シャックス・ソロモン』[□]

シャックスはソロモン72柱の魔神の1柱で、30の軍団を率いる序列44番の地獄の大侯爵である。召喚すると、しわがれているが繊細な声で話すコウノトリの姿で現れる。召喚者の命に応じて人の視覚、聴覚、理解力などの知覚を奪い去ったり、金や馬を盗み出す力を持ち、優れた使い魔も与えてくれる。また、神聖な事柄や悪魔たちが守っていない隠された財宝のことも教えてくれる。シャックスはあらゆる点において召喚者に忠実で従順であると約束するといふ。ただし、シャックスは魔法陣の三角形の中にいない限り嘘をつく。

『^{イリ}解明。一重二重三重四重。連なる列なる層44。対象“ ”。』
『^{エジ}解』

除”[□]
対象の呪文を解除する。

全体的設定（前書き）

全体の設定です
更新するかも

全体的設定

ワレラ

罪を犯し、罰を受けない者に相応の罰を与えるための部隊

ワレラになれるのは咎人だけ

咎人で、犯した罪に正義や歴とした意志がある者、またワレラに浄化された時に生きたいと強く思うか、唯一やり残したものがあつた者のみ

更に、その殺しに正当性があつた者のみという条件もある

ワレラは二つのクラスで構成されており、KnightとNighthtのダブルミーニングであるナイトとBuyとBiteを組み合わせたBUYITEがある

『犯罪の透視』

対象が犯した罪を見ることが出来る目をワレラは持つ。あまりにも小さい罪は見えない。

『臙の見掛け』

ワレラの存在を究極的に薄くしている“膜”のようなもの。正か負の状態のワレラを視認出来るのは、正零負の状態のワレラと、殺意を向けられた人間、直接触られた人間のみ。カメラやビデオなどの映像媒体では、ワレラの姿全体がぼやけ、まともには写すことは出来ない。

『臙体化』

基本的に使用不可能な特権。投げ所から現世に戻つた数秒くらいしか普通は臙体になることはない。D・G0などの特殊なワレラくらいしか使うことは出来ない。

オムニス ペリオリスモステッラ
『全てを束縛する国』

『曲解の輪廻』を作り出している特性。個人の特性ではなく、言わば世界の特性である。ただこれを保ち、担っているのは不快者のV e・IE。束縛などは全てにとつて不快の対象なので、不快者であるV e・IEくらいしか支えることが出来ない。

『魂補充』

ワレラが咎人を10人、または同胞を1人殺す、もとい浄化する度に魂を一つ得る。実際は各ワレラがおのおの持っているわけではない。『全てを束縛する国』に魂が集まっている。

ユニオン

二つ以上の呪文を組み合わせる使用すること。“千刃の谷・グロアディ”など

召喚体

呪文により召喚される武器や防具、人、竜などの架空の生命体などのこと。使えば使うほど経験値を溜め強くなっていく。しかし折れたり敗北したりして消滅した場合はまた初期の段階へと戻ってしまう。レベルを上げるには基本的に咎人や同胞を狩るしかない。そしてレベルが上がると共通特性や個別特性を修得していく。

特性

共通特性とは名の通り全てに共通する特性で個別特性は武器によつ

てそれぞれ異なる特性のことである。

共通特性“武器”

ワレラ 咎人10人分

召喚体LV1 咎人5人分

召喚体LV2 咎人10人分

召喚体LV3 咎人15人分

召喚体LV4 咎人50人分

┌ LV5 青

└ LV6┐ LV10 赤

└ LV11┐ LV15 銀

└ LV16┐ LV19 金

└ LV20 黒

LV1 咎人5人 『折れにくさ?』

武器が若干折れにくくなる

LV2 咎人10人 『使い勝手』

使い勝手がよくなる

LV3 咎人30人 『重さの無視』

持ち手に合わせて重さが変わる

LV4 咎人100人 『形状無視』

持ち手の思い描く形に変化する

LV5 咎人150人 『追撃?』

切り付けた時にもう一撃斬撃が飛ぶ

LV6 咎人170人 『幻影化』

刀身や矢などを不可視にする

LV7 咎人200人 『追撃?』

切り付けた時にもう二撃斬撃が飛ぶ

LV8 咎人300人 『疑似の間合い』

『幻影化』を使っていない時に使用可。刀身が見た目より1.5倍程長く、幅も1.5倍程広くなっている

LV9 咎人350人 『追撃?』

切り付けた時にもう三撃斬撃が飛ぶ。さらにその三撃から一撃ずつ派生させられる

LV10 咎人400人 『同化』

武器と使用者の同化。つまり剣が人に人が剣に。『使い勝手』以上に使いやすく、より折れにくくなる。剣が負ったダメージは剣が、人が負ったダメージは人がそれぞれ受けるのでダメージが2倍になるということもない

LV11 咎人600人 『折れにくさ?』

武器が折れにくくなるに加え、使用者の体も丈夫になる

LV12 咎人700人 『山の銅』

武器が折れなくなる

LV13 咎人750人 『炎纏』

刀身に炎を纏う

LV14 咎人850人 『氷纏』

切り付けた部分を凍らせる

LV15 咎人1000人 『離反』

『幻影化』と『疑似の間合い』を同時に使える

LV16 咎人1500人 『雷纏』

刀身に雷を纏う

LV17 咎人2000人 『双頭』

直ぐに消える“千刃の谷”とのユニオンと違い、手に持って使える召喚体をもう一本召喚する

LV18 咎人2500人 『剣雨しやくう』

選択範囲に召喚体の雨を降らす。呪文ではないので詠唱無し

LV19 咎人5000人 『剣岳』

選択範囲の地面から召喚体が飛び出てくる。呪文ではないので詠唱無し

LV20 咎人15000人 『天啓』

一日一人無条件で殺せる

共通特性“英雄”“悪魔”“竜”etc

咎人がワレラを殺すか相手の召喚体を倒す度に経験値を得る

ワレラ⇨咎人10人分

召喚体LV1⇨咎人5人分

召喚体LV2⇨咎人10人分

召喚体LV3⇨咎人15人分

召喚体LV4⇨咎人50人分

↳LV5 青

LV6↳LV10 赤

LV11↳LV15 銀

LV16↳LV19 金

LV20 黒

LV1 咎人5人 『耐久力?』

若干死にくくなる

LV2 咎人10人 『意志疎通?』

半径100m以内なら離れていても会話出来る

LV3 咎人15人 『(羽無し)飛行(羽有り)スピード?』

羽の無いものは若干飛行可能に。有るものは1.5倍速く動ける様になる

LV4 咎人30人 『(羽無し)スピード?(羽有り)サイレンス』

羽の無いものは1.5倍速く動ける様になり、有るものは羽はたたく音がしなくなる。

LV5 咎人50人 『耐久力?』
死にくくなる

LV6 咎人100人 『スピード?』

3倍速く動ける様になる

LV7 咎人150人 『距離の無視』

5m以内に瞬時に移動出来る

LV8 咎人200人 『意志疎通?』

半径300m以内なら離れていても会話出来る

LV9 咎人350人 『鷹目』

500m先に落ちている一円玉が見えるくらいの視力を与える

LV10 咎人400人 『高速』

10倍速く動ける様になる

LV11 咎人600人 『聖者?』

ナイトの召喚体であれば“千刃の谷”、BUITEであれば“ラム

テイル・ヴィーグ”を使えるようになる。詠唱拒否は不可能

LV12 咎人700人 『耐久力?』

一回だけ死んでも直ぐに生き返られる。レベルのリセットもない

LV13 咎人850人 『盛毒』

対象に毒を盛る

LV14 咎人1000人 『幻影化』

ワレラや召喚体から姿を消すことが出来る

LV15 咎人1500人 『同化』

召喚体と召喚者の同化。つまり召喚体が人に人が召喚体に。

LV16 咎人2000人 『聖者?』

ナイトの召喚体であれば“ソードフィッシュ”、“スレイ・ライ・

サントエク”、BUITEであれば“イステーク・ネスダク”、“

鬼人面相”を使えるようになる。詠唱拒否は不可能

LV17 咎人2500人 『双頭』

召喚体が自身を一体召喚する。Lv1で喋ることは出来ず、戦うことしか出来ない。これが咎人を殺したりした場合の経験値は召喚体に入る

Lv18 咎人5000人 『聖者?』

ナイトの召喚体であれば“ベエヤード”、BUITeであれば“ブレパス・ア・イカト”が使えるようになる。詠唱拒否は不可能

Lv19 咎人15000人 『天啓』

一日一人無条件で殺せる

Lv20 咎人30000人 『ワレラ』

召喚体自体がワレラになる。ナイトの召喚体はナイトに。BUITeの召喚体はBUITeに

個人の固有特性

左字の『最奥の地下水路』や妙の『ハンシャの国』のような、ワレラが一個人として持っている特性。

“国”や“空”、“海”とつく特性もあり、基本的に国、空、海の順に強力だが、そもそも特性毎に性質が違うのだから比べるのはあまりよろしくない。

主に自らの呪文を強化させたり、自らを守ったり、精神を攻撃するものがある。

自らの精神構造を弄りそこに相手を飲み込む『最奥の地下水路』、自らに仕掛けられた呪文を跳ね返し更に相手の呪文を不起動とさせる『反射>ハンシャ<の国』、負の深層心理に引きずり込む『心理の国』、オリジナルの5割強コピーを作り出す『守護神』は個人の固有特性の最たると言える。

離れればこそ見えるモノもある（前書き）

彼は苦い。

他に尽くすなんて凡そ人がやることではないのに。

彼は甘い。

他を慈しむなんて凡そワレラがやることではないのに。

私たちは所詮魂の狩人。

他の魂を自らに、自らのためだけに循環させる極めた利己主義者なんだ。

君は確かに苦いし甘い。

けれど君の存在意義、義務、思考する必要の無い犠牲を理解している。

理解していると思っていた。

けどダメだったみたいだね。

君は一旦離れる。

新西より遙かから足音を響かせおいで。

離ればこそ見えるモノもある

光の膜が消え、落ちたクラウ・ソナスも消えた。

そしてそれらより前に消えた吾桑は消えたまま戻ってこない。

S・A「……一体なにが起きた。ヴュールの奴も姿が見えないし……」

そうだと出宮真。

アイツは何処だ。

まだ畳の部屋に居るといふことは奴も此処に

「真理ならもう出てったよ。不快者を連れてね。」

S・A「……特性反射か。何時から見てたんだ妙。」

T・O「……最初から。君が建設予定地に来た……時から更に遡った30分程前からね。」

S・A「は……。ホントに最初からだな。客観的に見ていたお前なら分かるよな?」

T・O「……快楽者のこと?」

S・A「ああそうだ。どこに行った。」

T・O「……ん〜難しい質問ね。敢えて言うなら不快者と一緒になつたつてとこかな。」

S・A「それは一体どういう意味だ!」

T・O「……『快楽主義者の空』を不快者に埋めたのよ。結果、快楽者の体は消滅。この世から幸福は消えましたとさ。めでたしめでたし」

S・A「ふざけるな!」

気づけば俺は、妙の襟首を掴み桜の木に押さえ付けていた。

S・A「なにがめでたしだ!ふざけるのも大概にしる!」

T・O「……なにイライラしてんの左宇君?」

S・A「人の……!数日とは言え一緒に過ごした奴が死んで何がめでたしなんだよ!答えるハンシヤ!」

T・O・・・初めてハンシヤって呼んだね左宇君。ホント君は甘いよ。」

S・A「・・・なに？」

T・O・・・「本当は私のことを怒りたくない。けど怒らなきゃならないからせめて違う名を責める。それで私が受けるであろうシヨックを少しでも軽くしようとした。ね？」

S・A「・・・だったらなんだ。お前に対して腹を立てているのに変わりはないぞ！」

T・O・・・「分かってるよ。」

こいつ・・・。

T・O・・・「あのね左宇君。私たちが生きてる世界に勸善懲悪なんて言葉は存在しないよ？」

S・A「・・・はあ？」

T・O・・・「左宇君もそれくらいは理解してるって思ってただけどな。」

S・A「そんなものはお前の勝手な解釈だ！」

T・O・・・「かもね。」

要領を得ない事ばかり話しやがって・・・。

普段なら妙のふざけた話も聞き流せるが今はダメだ。

怒りの蓋が今にも開きそうだ。

T・O・・・「・・・他の犠牲無くして生存は有り得ないの左宇君。

快楽者の犠牲も貴方の犠牲も、全ては生存に繋がるの左宇君。だったらいいじゃない左宇君。」

・・・もうダメだ。

S・A「・・・今、今分かったよ。お前はおかしいと思ってたがそれは寸分違わず本当だったらしいな！いや俺が思っている以上、10割増しでお前は狂ってる！」

犠牲がなきゃ生きられないなんてのは嘘だ・・・。

T・O・・・「・・・分かったよ左宇君。」

S・A「・・・なんでそんなに俺の名を呼ぶ。」

T・O・・・「だつてね左宇君。当分呼ばなくなりそうだから今のうちに言っておこうと思つたんだ。」

S・A「意味が分から
腹に違和感を覚える。」

食道を競り上がる嘔吐感。

瞬時に口に鉄の味が広がつた。

S・A「ごほつ・・・。」

T・O・・・「・・・。」

これは・・・デュランダル・・・？

背中に手を回すと剣先が指に触れ、当たり前のように指から血が流れる。

デュランダルを・・・詠唱拒否だと？

T・O・・・「私から離れなよ左宇君。」

当たり前のように口から血が溢れてくる。

ヴュールとの戦闘でも阿呆みたいに流したが、所詮欺体なのに血なんて必要ないだろ。

T・O・・・「そしてね左宇君。外環から私たちを眺めなよ左宇君。」

それで理解出来たら私のところにおいて左宇君。」

S・A「意味・・・分からない・・・。」

T・O・・・「左宇君。」

S・A「なんで、俺の名を呼ぶ・・・？」

T・O・・・「一時お別れだからだよ左宇君。・・・“魂の権限を私に”。>>死者の書く。魂の経過に興味は湧く。導く死の魂と旅

路。解脱し、生きていけ。“バルド・トエ・ドル”。」

妙の右手に死の色が宿る。

T・O・・・「・・・じゃあね左宇君。遙かから足音を響かせおいで。」

右手が俺の体に迫る。

避けようとは思えないし避けられるとも思えない。

T・O・・・「バイバイ左宇君。ごめ」

「

妙の言葉が途中で途切れ、ついでに俺の意識も一時停止した。

離ればこそ見えるモノもある（後書き）

また此処に来るとはね。

OZ「意見の不一致か。離婚の理由みたいだな。」

S・A「馬鹿言つな。結婚していないのにどうやって離婚すんだよ。」

OZ「ま、良い機会だ。世界中を回らせてやる。」

S・A「そんなことして何になるってんだよ。」

OZ「人は千差万別多種多様に存在する。人という括りはあれやはり同じ人間は存在しない。考え方もまた然り。」

S・A「……つまり、世界中回って様々な考え方を感じてこいつてことか？」

OZ「理解が早くて助かる。」

S・A「……。」

新西市に戻ったところでまた妙に殺されるだけか。

それを抜きにしても今あいつとなんか会いたくもない。

OZ「因みに不快者だが……。」

S・A「そうだ……奴はどうなった！」

OZ「これから話そうとしとるじゃないか。黙って聞け。快樂者が『快樂主義者の空』を不快者に打ち込んだ。これは知っているな？

それによつて不快者の中の不快がかなり弱まった。不快者はこれから1年眠りに就く。」

S・A「じゃあその間に殺せば……。」

OZ「そんなことをすると、快樂者も完全に死ぬぞ。」

S・A「そりやどついう意味だ！」

OZ「喚くな……。ま、とにかく不快者は休むんだ1年。その間に世界中を回つて、お前と同じ考え方の奴を見つけた。どうだ？ さつき出した理由より合理的ではないか？この理由があれば、今回の旅にも意義が見出せられる。違うか？」

S・A「……1年間起きないって情報の信憑性は。」

OZ「100%だ。彼女が最後に残した希望を疑うとはなかなか厳しいなS・A。」

S・A「ふん。」

事の末路を知らないのに信用できるか。

S・A「……分かった。あいつも言っていた。俺はまだいける。

生きている限り何処までも行つてやるよ。」

あいつが成し遂げたかった事を完遂するために。

OZ「よろしい。では行け。まずは味方を作りにな。」

OZが手をパンと鳴らし、俺の意識は再び消えた。

……何処へだつて行つてやる。

プロローグ - 嘘は嘘 -

嘘には基本的な2種類がある。

すぐばれる嘘と、時間が経ってからばれる嘘。

そして永久にばれず墓場まで持つていくか、自ら暴露する嘘の3種類だ。

まず第一の例として挙げられるのが『嘘には基本的な2種類がある』という嘘だ。

すぐばれる嘘を吐く奴は間抜けだと思つかもしれないがそうではない。

すぐばれる嘘を吐くのは慌てているからという訳でもなく、心に潜む“罪悪感”から来るものなのだ。

嘘を吐くのは良くない。ただ怒られたくない。

けど嘘はダメなんだ、という罪悪感がすぐばれる嘘を吐くのだ。

ま、別の見方をすればすぐばれる＝すぐ怒られる＝短いお叱りで済むとも……。

オホン、時間が経ってからばれる嘘の例を挙げよう。

あるところに兄弟がいた。

母親が外出中兄は、食べてはいけないと言われたお菓子を食べてしまった。

弟にも食べさせこれで同罪。

告げ口すればお前も怒られるぞ、と脅し口止めとした。

けれども、それではまだばれる恐れがあると考えた兄は弟を殺し埋めました。

数時間後、母親が帰ってきて兄に聞きました。

お菓子を摘んでないだろうね？

兄は答えます。

勿論さ、僕は約束は守るよ！

母親は聞きます。

弟の奴は何処に行ったんだい？

兄は答えます。

遊びに行ったよ。

母親は言います。

こんな時間にかい、全く何処に行ったのかねあの子は。

兄は言います。

さあね、探してこようか？

さ、長くなったのでこの辺で切りましょう。

今回の話は嘘とは全く、関係ありません。

V E N E N O

・・・ん？

体中が痛い。

えー・・・俺は・・・んー・・・。

思い出した、OZに送られたんだどこかの国に。

送られた時夜だったのも手伝って、路上で寝てしまったんだ。そりゃ体も痛くなるわな。

体を起こし座る。

S・A「んー、ああ・・・。此処は一体どこの国なんだ。」

「ブエノスディアス！」

S・A「どわっ!?!?・・・は?なんだあんた!」

背後から男が話しかけてきた。

びっくりしただろうが!

男「ハラペーニョーガラパチア?」

こいつは何を言っているんだ。

S・A「あー・・・アイキャンスピークジャパニーズオンリー。アイアムジャポネ。」

男「オーウジャポネ!メディシナベロシナカランペペロンチーノ?」

・・・こいつ頭おかしいんじゃないかねえのか?

S・A「日本人だっつつつてんだろ。喚くなよボケ。日本語かせめて英語で話せや!出来ないならどっか行け!」

男「ンンー。ポドリアトラエルメルデサジュノラコミダラセナアミアビタシオンポルフアボール。」

この野郎・・・。

寝起きで、しかも体中が痛い。

S・A「最高にいらついているんだよ今!アイアムアングリー!ユアヘッドイズクレイジー?!アーハーン?!」

「ポドリアブスカールメアルグンインテルプレテデハポネ？」
もう一人背後から来やがった……。

S・A「だから……アイアムジャポーネつつつて
「日本語の通訳が必要かなお兄さん？その男はな、あんたに麻薬い
らねえかつつつてんの。ドローアンダースタン？」

S・A「は……？」

一体誰だこいつは。

男「ヘイシオン！ヨエネジャスルンマジャ！」

シオン？「あ？ふざけんなよタコ！同郷の友にヤク売ろうなんざこ
の俺が許さねえぞ？」

男「オ、オーウ、ハハハ。サンルイカダウジヨ。ジャ、ジャアナシ
オン。」

新たに現れた男の気迫に押されたのか、先の男は舌打ちしながら行
つてしまった。

シオン？「つたくあの野郎は。」

S・A「あ、あの一。」

シオン？「ん？ああ大丈夫だったか？」

S・A「あ、いや、うん。助かったよありがとう。」

シオン？「ははは、なんてことないよあれくらい。……あんた、
此処で寝てたのか？日本人だよな？」

……一体どうやって説明すべきかな。

S・A「まず二つ目の質問に答えるよ。俺は日本人だ。あんたもそ
うみたいだな。」

シオン？「ああ。生粋のジャポーネさ。」

S・A「そりゃ良かった。……あー、一つ目の質問だが……。」

シオン？「分かった。みなまで言うな！」

S・A「は？」

シオン？「お前は見たところパスポートを持っていない。つまり不
法入国だろ？」

S・A「あ……。」

違う、と言いつれもない所が痛い。

やり方はどうあれ不法入国みたいなもんだ。

S・A「・・・いや不法入国つつーか不可抗力つつーか。マグロ漁船・・・は関係ないし・・・。」

シオン? 「あはははは! 面白いなあんだ! いいよいいよ何だって! 取りあえず飯でも食いにいこうぜ兄弟! 」

S・A「お、おう? 」

・・・一体此処はどこなんだ!

酒は飲んで溺れる！飲酒は20歳から

シオン？「カルド・デ・レス。牛肉のスープだ。カルネ・アサーダ、ステーキだ。クエルボ、サウザー、ドン・フリオ、テキーラ・サンライズ、コロナビール。好きなものを飲めよ！ははは。」

麻薬を売られそうになり、テキーラを飲ませようとしている。今分かった。

此処はメキシコだ。

・・・えーと、アメリカの下とかそんな感じだったかな？

地理はダメなんだよ。

S・A「朝からこんなに食って飲むのか？」

シオン？「当然だ。ははは、なんだ？朝は食わない派か？」

S・A「ま、まあこんなには・・・食わないかな。」

今は食べる必要がない体だから普段は食べていない。

まともな人間の時も抜いてばかりだったけど。

シオン？「そりゃいかな。朝飯は一日の活力と言っても過言じゃない。朝からテキーラを飲まなきゃメキシカンじゃねえぞ！」

S・A「俺メキシコ人じゃないし。・・・いやお前もメキシコ人じゃないじゃないか。」

SION「あはははは細かい事は気にしちゃノーだぜ。っとそういやまだ自己紹介してなかったな。俺の名前はシオン。S、I、O、Nでシオン。どうだ？イカす名前だろ？」

S・A「あ、ああそうだな。俺は阿部左宇って名前だ。左宇とでも呼んでくれ。」

SION「左宇ね。よろしく。取りあえず飯はいい。コイツを一杯やれよぐいっと。」

ジヨッキになみなみ注がれたテキーラ。

洋酒なんて飲んだことねえよ。

SION「ほれどうした？ぐいっといっちまえ。」

・・・まあ欺体だから大丈夫か。

S・A「よし・・・。んっ！ん、んんん。」

SION「あははははいい飲みっぷりだ！」

S・A「くくくくくく。」

SION「・・・いやちよつと待て。ぐいっとは言ったが一気は不味いんじゃないか？」

S・A「・・・ぶはー。」

不味・・・。

SION「大丈夫か・・・？」

S・A「ん？ああ大丈夫。意外とイケるもんだな。」

SION「・・・。あはははあははははは！お前やつぱ面白いわ。」

S・A「そうか？」

SION「ああそくだそくだ！気に入った！同郷のよしみだ、お前が何しに来たか知らねえが世話してやるよ。」

S・A「そうか？」

助かると言えば助かる。

金もなければ家もない。

食う必要も寝る必要もないから気にする必要もないかもしれんが・・・。

孤独は人を押し潰す、かな。

初めての海外だし誰かと一緒の方が安心だろう。

S・A「じゃあ・・・よろしく頼むよシオン。」

SION「おうよろしくな左宇。」

この固い握手が一生物になるとは思わなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1364z/>

JETBLACK-Footsteps.Coming.-

2011年12月11日16時50分発行